

全国学力・学習状況調査の結果について

紅葉の候 保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。

さて、4月に実施された6年生対象の『全国学力・学習状況調査』の結果についてお知らせをいたします。

本校では、これらの結果を客観的資料の一つとして受け止め、次のように授業改善にも努めます。『表現力を高める授業創り』を目指し、児童一人ひとりの学力をつけていくことに根気よく取り組んでいきます。また、自主的に学びに向かえるよう、実態に合わせた学習課題を設定し、基礎基本の定着に努めていきます。

なお、今回のような調査によって測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願い致します。

◇各教科 集計値

	国語	算数
本校児童	55%	64%
神奈川県	61%	67%
全国	63.8%	66.6%

【国語】の結果について

目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて読む力がついてきていますが、自分の考えの理由を明確にしてまとめて書くことが苦手な児童が多いです。

特に「言語についての知識・理解」の平均正答率が、神奈川県・全国を下回っていました。

【算数】の結果について

徐式の意味を理解する問題や、示された場面において複数の数量から必要な数量を選び、立式する問題の平均正答率が神奈川県・全国を上回っていましたが、それらの求め方の説明を記述することに苦手意識をもっている児童が多いです。

◇児童質問紙による結果について

「国語や算数の勉強は大切だと思いますか」や「国語や算数で学習したことは将来社会に出た時に役に立つと思いますか」という質問には90%以上の児童が「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えています。学習の重要性を理解していると思われます。また「物事を最後までやり遂げて嬉しかったことがありますか」という質問の回答率も高い傾向があります。学習以外にも運動会や児童会活動、たてわり活動等にやりがいを感じて活動している様子が見られます。

◇今後の対策

- ・漢字や計算の練習を繰り返し行うことで理解を深め、さらなる定着を図る。
- ・目的に応じて資料を読み、自分の考えを分かりやすく伝える書き方の指導に努める。
- ・目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話すことに努める。
- ・問題の解決方法を考え、友達との意見交換を行い、考えを深めるようにする。
- ・課題解決に必然性をもたせるために、身近なところから学習の材を見付け、学習意欲の向上につなげる。